



静岡県山岳連盟
〒422-8076
静岡市駿河区八幡3-1-17
TEL (FAX) 054-288-7512
編集発行/総務委員会
平成25年6月17日発行



5月11日、平成25年度の通常総会が静岡リハビリテーション専門学校で開催され、委任を含む20団体が出席した。

滝田会長から、日山協は、ご承知のとおり4月から公益社団法人になりました。此のこにより税制の優遇措置を受けますが、公益法人として権限と責任が重くなりました。ま

平成25年度通常総会 新年度事業計画決まる

新たに一般向け登山教室、少年少女登山教室を計画

た、公益目的事業費率が50%以上の支出制限もあります。

県岳連は、日山協に加盟しておりますので、公益事業を行うことになり。指導委員会を中心に登山教室や少年少女登山教室等を実施しますので、ご協力をお願いいたします。県岳連の加盟団体数は、今年26団体となり、財政的には厳しくなりま

くがんばってくれた。竜爪競技会は多くの選手が参加し盛況であった。などの報告があり、計画した事業は、少年少女登山教室を除き予定通り終了した。

会計決算については、特に異議もなく、原案通りに承認した。

平成25年度の事業計画では、今年度新規に一般向け登山教室、少年少女登山教室の開催を打ち出し、会員に協力を呼びかけた。

登山教室の計画は、「白馬岳に登ろう」をテーマに一般の方を対象にした登山教室で、8月3日、4日に実施する。山登りのすばらしさの体験と安全登山の知識と技術の習得を掲げ、2回の事前学習

25年度予算は原案通り承認されたが、内容は厳しいものだ。会員数の減少により会費収入が減少する中、日山協、県協の納付金を支出するといくらも残らず、日山協の山岳共済の還付金で事業運営するのが現状である。

今後、加盟団体の協力を得ながら収益事業の強化や収入増加の方策を検討し、現状を改善する努力が求められる。

25年度しずおかスポーツフェスティバル登山大会は東部が担当し、9月7日、8日に富士山村山道をメインに実施する。また、26年度の開催は静岡ブロックが担当することに決まった。

総体2次予選会

富士宮西高・男女W優勝

女子出場校最多・レベルアップ 竜爪山系

全国高校総合体育大会への出場校を決める県大会(県2次予選大会)が、5月25日(土)26日(日)に行われた。参加校は男子19校、女子8校。会場は、年度ごとに西部・湖西連峰、中部・竜爪山系、東部・愛鷹山系と回しているが、今年は竜爪山系が、今年が竜爪山系で開会式・ペーパーテストをやり、近くの雪平公園へ移動。そこをスタートとして梶原山(一本松公園)柏尾峠を経て車道に下り(途中で読図・植生の審査あり)、北沼上小学校のゴールまで行く。ゴール後は装備・設営・炊事・天気図などの審査を行って1日目が終了(審査員は夜遅くまで審査の集計に追われる)。

2日目は3時起床、5時から順次スタート。北沼上小、平山、則沢

性別	順位	校名	得点	備考
男子	1位	富士宮西高	98.1	全国総体へ出場
	2位	藤枝東高	95.9	東海総体へ出場
	3位	日大三島高	95.8	東海総体へ出場
	4位	浜松日体高	94.7	
	5位	富士高	91.7	
	6位	清水東高	87.3	
女子	1位	富士宮西	99.7	全国総体へ出場
	2位	日大三島高	95.5	東海総体へ出場
	3位	藤枝東高	93.6	東海総体へ出場
	4位	清水東高	85.4	

今年大会の傾向としては、まず、女子の出場校数が近年では最も多く、しかも女子のレベルが総じて高かったことが挙げられる。1日目を終了した時点では男女とも非常な接戦であり、予断を許さ

ない状況であったが、結局、歴戦の強者富士宮西が、手堅くとりこぼしなく逃げ切ったのはさすがである。ただ、2位以下の各校、特に藤枝東・日大三島・浜松日体などが、今後富士宮西を脅かしかねない力をつけてきており、全体的にますますレベルがアップしている。

登山専門部では、生徒対象の競技力向上講習会を次年度に2次予選を行う山域で開催したり、顧問たちで作成した「登山教程」に新たに「登山競技編」を作った学習しやすくしたりして、加盟校がみんな実力アップするようにはなっており、また岳連の竜爪山競技会・冬山講習会などにも参加して鍛えていただいているが、

それらの効果が現れてきたと思われる。入賞校は表のとおり。なお、全国総体は8月2日(金)〜6日(火)、大分県、くじゅう山系(大船山・久住山・中岳)で、東海総体は6月14日(金)〜16日(日)、三重県、鈴鹿山脈(雲母峰・鎌ヶ岳・入道ヶ岳)で行われる。(小谷田)

4月常任理事会

- 4月15日(月)、静岡労働政会館で常任理事会が開催された。出席者は17名。総会提出議案の審議が主な内容。
- 平成24年度指導委員会事業報告
 - 国体委員会事業報告
 - 遭難対策委員会事業報告
 - 海外委員会事業報告
 - 決算報告
 - 平成25年度指導委員会事業計画
 - 指導委員研修会兼総会と冬山講習会指導員打合せ会

- 冬山登山講習会(富士山双子山周辺)
- 南アルプス登山相談所派遣(春山・夏山・冬山)
- 指導委員総会兼研修会など
- 平成25年度国体委員会事業計画
- 国体県予選(浜松SC)
- 東海ブロック大会(浜松SC)静岡が開催
- 国体(東京都東久留米市スポーツセンター)
- 県高校クライミング競技会(浜松SC)
- 竜爪山岳競技会(竜爪山)
- 県高校ボルダリング競技会
- 平成25年度遭難対策委員会事業計画
- 県遭難対策委員会兼総会
- 初級山岳セルフレスキュー講習会兼研修会(中級山岳セルフレスキュー講習会兼研修会)
- 平成25年度海外委員会事業計画
- 海外登山・トレッキング講座(全3回の講座を開講)

編集後記

総会が終わり、新規事業が盛り込まれ、岳連の活性化が見えてきた。諸事業が成功裏に終わり、活性化を現実のものとするには、加盟団体の協力が不可欠である。それには活動内容・成果を広く会員に知ってもらう必要があり、「宝永」がその役目の一翼を担ってほしい。(TK)

厳しい財政事情

25年度予算は原案通り承認されたが、内容は厳しいものだ。会員数の減少により会費収入が減少する中、日山協、県協の納付金を支出するといくらも残らず、日山協の山岳共済の還付金で事業運営するのが現状である。

今後、加盟団体の協力を得ながら収益事業の強化や収入増加の方策を検討し、現状を改善する努力が求められる。

25年度しずおかスポーツフェスティバル登山大会は東部が担当し、9月7日、8日に富士山村山道をメインに実施する。また、26年度の開催は静岡ブロックが担当することに決まった。

第68回国体予選会 浜松SCC 国体代表選手決まる

平成25年度の東京国体の予選会が選手26名の参加を得て5月3日に浜松スクエアにて行われました。

本年は、東海ブロック大会が、7月に当会場とB・S・P・O・Tにて行われることもあり、多くの役員の方々にお手伝いをいただきました。また、会場を貸しきりで提供していただいた浜松スクエアさん、今回、チーフルートセッターをお願いした大山史洋さんには、前日のセットのみならず当日の競技の進行まで見ていただきました。この場を借りて感謝申し上げます。



(リード競技)

さて競技は、リード競技、ボルダリング競技とも少年・成年共通のコースで行われました。まず女子のリード競技は、バランスを要求される下部から、傾斜の強い部分をダイナミックな動きで超えていくルートで、唯一少年の中村さんが完登(グレード12b)。男子は、正面のメイン壁を真っ向から登るルートで、レスト、クリックともデリケートなルートの中、少年の田邊君が唯一完登し、鈴木正信君がそれに続きました(グレード12d)。

その後行われたボルダリング競技は4分間オンサイトの4課題のペルトコンベアー方式で、女子は中村さんが(6トライ)、男子は、少年の鈴木正信君(10トライ)、成年の鈴木良輔さん(5トライ)で全完登を果たしました。特に、成年の鈴木さんは、全課題オンサイトに高い保持力を発揮しました。表彰のあと、大山さんの講評があり大会が無事終えることができました。次の上位2名の方が、東海ブロック大会(成年男子は本国体)に駒を進めることになりました。



(ボルダリング競技)

第68回国体予選会表彰者			
成年男子	1位	鈴木良輔	ガイドステーション
	2位	米山修平	専修大学
	3位	柳本健司	日本平消防署
成年女子	1位	望月香菜子	宇都宮大学
	1位	渡辺亜梨沙	常葉学園大学
少年男子	1位	鈴木正信	浜松日体高
	2位	田邊匡律	浜松日体高
	3位	伊藤優輝	浜松日体高
少年女子	1位	中村祐香梨	浜松市立曳馬中
	2位	北脇順子	浜松日体高
	3位	小山紗莉	富士宮西高

平成25年度のしずおかスポーツフェスティバル登山大会は東部ブロックが担当し、富士山村山登山道をメインに新六合目まで登る。村山道は平安時代に修験者が登ったとされる最古の登山道で、大宮から村山浅間神社を経て六合目に至る道で、明治時代に廃道となったが最近復活された。期日は9月7日(土)～8日(日)。

平成25年度 スポーツフェスティバル 歴史の道「村山道」を歩く

平成25年度のしずおかスポーツフェスティバル登山大会は東部ブロックが担当し、富士山村山登山道をメインに新六合目まで登る。村山道は平安時代に修験者が登ったとされる最古の登山道で、大宮から村山浅間神社を経て六合目に至る道で、明治時代に廃道となったが最近復活された。期日は9月7日(土)～8日(日)。

公益社団法人がスタート 平成25年度 定時総会 日山協

5月26日(日)岸記念体育会館会議室において、日山協の平成25年度定時総会が開催された。

最初に神崎会長から、4月から日山協は公益社団法人としてスタートした。明確な理念と活動目標を定めて、日本の登山界を牽引する責任のある組織として、社会に親しまれ、そして登山界に期待される日本山岳協会を目指していくと挨拶があった。

議事は、第1号議案平成24年度事業報告(案)について、第2号議案平成24年度収支決算報告(案)について、



次に報告事項は、1 平成24年度共済会事業報告及び収支決算報告について、2 平成25年度正会員について、3 組織・管理運営規程の改定について、4 国体山岳競技規則の改定について、5 その他として、山口岳連から白馬岳の遭難事故に関する報告と、徳島岳連から平成26年度全日本登山体育大会の案内があった。最後に、意見交換の時間がとられたが、特に発言もなく終了した。(滝田)

平成25年度 日山協 競技委員総会

4月7日(日)競技委員会総会が岸記念体育会館で開催された。出席は39名で、委任等の欠席は8名のみと、この会議への関心の高さが伺える。会議の内容は次のとおり

1 平成24年度競技部事業報告
2 平成25年度競技部事業計画
3 第68回国体準備状況
10月4日～6日、東久留米市スポーツセンター 近辺に駐車場はない。宿泊は都内。リード壁は、屋外、ボルダリングは体育館内。

南ア春山相談所開設 沼平指導センター

南アルプスの春山相談所が、4月27日から5月6日までの10日間、沼平の指導センターで開設された。県遭対協からの要請により、県岳連から指導員を派遣した。また、警察の山岳救助隊員もその間常駐し、登山者の相談、指導及び天候や雪の状態などの情報提供を行い、安全登山の一翼を担った。

この期間の沼平からの入山者は、52パーティ(130人)で茶臼岳・光岳方面が29パーティ、聖岳方面が11パーティ、赤石岳方面が11パーティ、その他が1パーティであった。今年の春山は、4月30日午前中が雨だったが、連休前半、後半とも好



沼平指導センター

グは体育館内。
4 平成25年度の国体山岳競技規則集の一部改訂(5月に発行の予定)
・リード競技の個人順位に同着があった場合は、競技時間の短いほうを上位とする。
・ボルダリング競技の決勝は全チームとも4課題を実施。
・今年から監督は、日本協公認スポーツ指導者の資格を有する者となった。
5 ブロック研修会
・運営研修は1日研修とする。各県必ず出席のこと。
・各県の代表監督は必ず出席のこと。
6 選手登録方法の変更
・平成26年度から予選会参加者も選手登録が必要となる。(一般2千円、中高生千円)
7 ルートセッターの旅費の半額補助の廃止。
8 公認山岳コーチ、指導員制度について
・オリンピック対応
9 平成25年度日本代表選手について
・代表選手は県予選会免除。
10 トレイルランニングの競技指針について
11 国体ブロック別出場県割当数(成年、少年男女)
・平成30年までは決まっている。それ以降については、今後検討。(諸戸)